

## 平成 29 年度第 2 回病院・薬局関東地区調整機構委員会(総会)議事録

日時：平成 29 年 12 月 15 日（木）14：00～16：00

場所：明治薬科大学 総合教育研究棟（フロネシス）1 階 8111 教室

出席者：関東甲信越 1 都 9 県薬剤師会委員 10 名（オブザーバー 2 名）及び病院薬剤師会委員 9 名、日本保険薬局協会委員 1 名（オブザーバー 1 名）、日本チェーンドラッグストア協会委員 1 名、委員長指名運営委員 2 名（日本病院薬剤師会、東京都薬剤師会）、薬学教育協議会 2 名、23 大学委員 37 名（オブザーバー 7 名）、文部科学省 2 名、厚生労働省 2 名、関東地区調整機構事務局長（出席者委員名簿参照）

関東地区調整機構伊東委員長を議長とし、吉山副委員長の司会進行のもと、定時に総会を開催した。

### 1. 報告事項

#### 1) 薬学教育協議会報告（望月）

資料 1-1-1①②、資料 1-1-2 に基づき、以下について報告がなされた。

- 第 34 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会の内容
- 平成 29 年度実務実習に関する報告書（第 I 期実務実習の良い事例報告書）

#### 2) 平成 29 年度第 I 期実務実習実施状況報告（伊東）

資料 1-2①②に基づき、以下について報告がなされた。

- 実習実施時のトラブル
- 大学の意見
- 実習に関する学生の意見
- 実習に関する病院側の意見
- 実習に関する薬局側の意見
- 大学から収集した実務実習の良い事例報告

#### 3) 小委員会報告

##### ① 大学小委員会（三原）

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習のルーブリック評価・実習計画書ワーキンググループの立ち上げ、検討を行った。詳細は、審議事項で検討する。

##### ② 病院小委員会（伊東より報告）

特になし

##### ③ 薬局小委員会（山田）

特になし

##### ④ 指導薬剤師養成小委員会（小佐野）

資料 1-3④に基づき、以下について報告がなされた。

- 平成 29 年度指導薬剤師関連 WS の実施状況（中間報告）
- 平成 29 年度第 5 回新認定 WS の実施計画
- 平成 30 年度指導薬剤師養成事業の実施

⑤ トラブル防止小委員会（嶋田）

資料 1-3⑤に基づき、以下について報告願された。

- 平成 29 年第 I 期実務実習トラブル事例（学生が発生源、大学・教員が発生源、実習施設が発生源）

4) 平成 29 年度関東地区調整機構予算執行状況（永田）

資料 1-4 に基づき、報告がなされた。

支出における会議費 4 および会議費 5 について、今年度は ADWS に重きを置いた形で実施したため、予算との差額が生じている旨の説明がなされた。なお、指導薬剤師養成事業に係る経費は、「B 規模会費」より充当することとなっており、今年度の差額については平成 30 年度の養成事業に回したい意向であることが報告された。

5) 4 期制割振りシステムのトライアルについて（伊東）

資料 1-5 に基づき、平成 31 年度以降の 4 期制および薬局実習エントリー方法の変更に伴い新たに構築した割振りシステムについて、トライアルへの協力依頼がなされた。

## 2. 協議事項

1) 平成 29 年度第 1 回病院・薬局関東地区調整機構委員会議事録（案）（伊東）

資料 2-1 について協議し、承認された。

2) ルーブリック評価・実施計画書に関する WG の報告について（三原）

資料 2-2①②に基づいて、WG の経過について報告がなされ、提案について承認された。

- ルーブリック（概略評価）については、現在、薬学実務実習に関する連絡会議案、日本薬剤師会案、日本病院薬剤師会案の 3 案が提示されており、基本的には一本化が望ましいが、薬局実習と病院実習では対象となる SBOs が異なるため文言の違いは致し方ない。また、WG で挙げた意見は日本薬剤師会および日本病院薬剤師会に伝達済みであり、両団体にて現在再検討中である。最終的には、薬局実習については日本薬剤師会案を、病院実習については日本病院薬剤師会案を基本とすることが提案され、承認された。
- 実施計画書における薬局実務実習および病院実務実習の実習内容のひな形については、複数の大学の実習生を受け入れる際に施設側が混乱しないためにも統一されたひな形が必要であると考え、今回作成した。関東地区として、このひな形を各大学が提示し、受入れ施設と調整することが提案され、承認された。なお、この点については、中央調整機構会議でも関東地区の考えを報告することとした。

3) 平成 30 年度事業計画案（伊東）

資料 2-3 に基づいて説明がなされ、承認された。

4) 平成 28 年度決算報告（案）（永田 会計担当委員）

（資料 2-3）に基づいて報告し、承認された。

5) 平成 30 年度予算案（永田）

資料 2-4 について説明がなされ、承認された。

- 6) 平成 31 年度病院・薬局実習実施割り振り日程案（伊東）  
資料 2-5 に基づき説明がなされ、特に意見もなく承認された。
- 7) 平成 31 年度実習施設決定までのスケジュール案（伊東）  
資料 2-6 に基づき説明がなされ、特に意見もなく承認された。
- 8) 「実務実習評価委員会」の設置と委員長および委員の選出  
良い実習事例を大学から収集・評価する「実務実習評価委員会」を関東地区調整機構内に設置することが提案され、承認された。これを受け、委員長として吉山友二先生（北里大学）が推薦され、承認された。また委員として、薬剤師会委員より杉山宏之先生（千葉県薬剤師会）と久保田充明先生（神奈川県薬剤師会）、病院薬剤師会委員として真壁秀樹先生（埼玉県病院薬剤師会）と飯塚雄次先生（千葉県病院薬剤師会）、大学委員から三原潔先生（武蔵野大学）と吉山友二先生が選出され、承認された。
- 9) その他
- 久保田委員（神奈川県薬剤師会）より、改訂コアカリに対応した実務実習に向けて、薬剤師会および病院薬剤師会では平成 30 年度にトライアルを実施していくことにしているが、大学としてはどのような考えでいるのか確認したいとの質問があり、大学を代表して大学小委員会の三原委員長よりトライアルには積極的に関わっていくつもりであるとの回答がなされた。
  - 伊東委員長より、病院薬剤師会に対し、関東地区では大学との個別契約が進んでいる中、調整機構枠を 1 人でも構わないので提供してもらえないかとの要望がなされ、関東地区調整機構委員長名で要望書を発行してもらえれば、各都県病薬でも検討しやすいとの意見が出され、準備を進めることとした。
  - 高田委員（長野県薬剤師会）より、新しい薬局実習割り振りシステムについて確認がなされ、本システム導入による様々な課題も考えられるが、現時点では不明であり、導入した上で課題に対して検討して必要があることが説明された。
- ※ 最後に、文部科学省高等教育局医学教育課 前島一実氏および厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 安川孝志氏より講評があった。

以 上  
(文責 尾鳥勝也)